

# 平成 27 年度 沢地小学校区 第 2 回地域コミュニティ連絡会まとめ

開催日	平成 27 年 10 月 26 日 (月)	会場	市民体育館
-----	-----------------------	----	-------

ご参加ありがとうございました。



## 【当日参加団体一覧】

団体名		
富士ビレッジ自治会	光ヶ丘白光会	北中学校
富士見台自治会	保護司	体育振興会
光ヶ丘 1 丁目町内会	光ヶ丘保育園	防犯サポーター
光ヶ丘市営住宅自治会	沢地幼稚園	保健委員会
千枚原町内会	沢地小学校、PTA	スポーツ推進委員
北上地区地域包括支援センター	スクールガード	光ヶ丘 1 丁目子供会

※当日参加者 19 名

## 【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供 & ご協力をお願い～

- 保護司会：罪を犯した人たちを特別視することなく、温かい声かけと積極的な関わりを作る場面や、ふれあいの場を地域一体となって作る努力をして頂きたい。保護司活動に積極的に参加して下さる方の推薦をお願いしたい。
- 富士見台自治会：毎年恒例「沢地小学校区防災訓練」を 9/6(日)に実施。起震車体験も行った。
- 体育振興会：12/6(日)ウォークラリーを実施予定。トリム教室実施中。ぜひ参加ください。
- 光ヶ丘保育園：「園庭開放」毎週木曜 10 時～12 時、未入園の親子も園庭や遊具で遊べます。「子育て応援ボランティア」を募集中(対象者は概ね 65 歳以上)、内容は保育園の行事支援・環境整備・安全確保等、ご協力お願いします。
- 沢地幼稚園PTA：古紙(新聞、雑誌、段ボール、ミックス古紙)・ベルマークを回収しています。

### <会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



## 【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
①下校時の見守りを充実するための取り組みを始めよう！	9人
②高齢者が安心して暮らせる環境づくりに取り組もう！	2人
③防災体制を強化する取り組みを始めよう！	8人
④その他	0人

※アンケートの結果、①と③に分かれ話し合いました。

## テーマ別会議①：「下校時の見守りを充実するための取り組みを始めよう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暗いと、かけこみ 110 番はわからない</li> <li>・ 子ども会の保護者は仕事をしている方が多い</li> <li>・ 部活後、暗い中の下校が心配</li> </ul> <p><b>●スクールガード（SG）に頼るのは難しい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ SG に頼るのは無理（SG の高齢化）</li> <li>・ 高齢者は長時間の活動が困難</li> <li>・ 下校時間がバラバラで見守る人が少ない</li> <li>・ 富士ビレッジの SG は午後の参加が少ない</li> </ul>	<p><b>●下校時刻の調整（学校側の対策）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1～3 年生の下校時刻を合わせられると良い</li> <li>・ 体力的に 1 年生の下校時間を延ばすのは難しい</li> <li>・ なるべく集団で帰れると良い</li> </ul> <p><b>●低学年を重点的に見守り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下校時刻に地域内にアナウンス（放送）</li> <li>・ サポーターが少ない現状の中では、低学年が下校する時間帯を重点的に見守り活動を進めていく</li> </ul>	<p><b>●気軽にできることから始める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>在宅でできるサポート</u></li> <li>・ <u>散歩コースの工夫</u></li> <li>・ 些細なことでも実践する</li> <li>・ 少しの時間でも家の外に出ていただく</li> <li>・ 気軽に外に出てみる（家の前に立つなど）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士ビレッジでは、狭い道で危険な車のスピード抑制</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見守る人が少ないのは慢性的。市の対応策は？</li> <li>・ 地域の子を地域で守る想いが大切</li> <li>・ 警察に立ってもらいたい</li> <li>・ 防犯体制（≡防災体制）の基本体制づくりが重要</li> </ul>	<p><b>●情報交換の場づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サポーターをやっている人に声をかける</li> <li>・ 腕章している人に聞いて</li> <li>・ 青パトや駅前交番と SG 等、横の連携を強化して見守りたい</li> </ul> <p><b>●サポーターの仕事をはっきりさせる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校への報告・連絡している人もいる</li> <li>・ 町内保険に入っている</li> <li>・ どこまでが見守りなのか？主体はどこか？</li> <li>・ 見守りとは？責任は？目標どこまでか？</li> <li>・ 何ができるのか？見守りとは？ミッション？範囲？</li> </ul>
<p><b>●サポーターが増えたが、町内会で把握できない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ かわせみでサポーター募集を呼びかけた</li> <li>・ かわせみボランティアが数名増えた</li> <li>・ 散歩に出る人も増えた</li> <li>・ サポーターを説明する場所がない</li> <li>・ 町内会は把握できていない状況</li> <li>・ SG と自治会の連携ができていない</li> </ul>	<p><b>●SG と自治会が連携する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会役員に SG に入ってもらいたい</li> <li>・ 自治会でサポーターを決めてもらいたい</li> <li>・ 町内会の協力が必要だと思う</li> <li>・ <u>サポーターの重要性を周知</u></li> </ul>	<p><b>【サポーターの課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サポーターの仕事・責任が重いと感じられる</li> <li>・ 子どもの特性など知っておいた方がいい</li> <li>・ サポーター自身も交通の危険がある</li> <li>・ 長期休暇時の見守りのしかたを考える</li> </ul>
<p><b>●防犯マップを作っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの目から防犯マップ作っている</li> <li>・ 防犯マップのことを多くの人知らない</li> <li>・ 防犯用具がたくさん余っている</li> </ul>	<p><b>●防犯マップを知ってもらう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯マップを皆に知ってもらう</li> <li>・ 小学 6 年生から防災についての発表会があったが、防犯も同じような発表会を持ってほしい</li> </ul>	

※下線部は、平成 27 年度第 1 回連絡会における意見

## テーマ別会議②：「防災体制を強化する取り組みを始めよう！」

現状・課題	解決策	取り組みそうなこと（案）
<p><b>●平日昼間の災害への対応が課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害弱者がたくさんいる</li> <li>・高齢化率。特に若者がいない平日昼間に問題</li> </ul>		<p><b>●中高生に活躍してもらおう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内から3～5名の若手（フリー）を出したい</li> <li>・中高生に活躍してもらおう（ただし、家にいるとき）</li> <li>・防災訓練に中学生は最後まで参加をしてもらう</li> <li>・中学生は学校にいるときは活動できない</li> </ul>
<p><b>●保育園が防災面で改善（前回からの進展）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時に町内会と一緒に活動することになった</li> <li>・防災弱者の正しい理解が得られ、文書の不備を改正。役員の方々に周知</li> <li>・災害弱者の方に保育園開放する取り決め</li> </ul>	<p><b>●それぞれの役割を明確にする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災のプロチームを作ろうという動きもあった</li> <li>・市・地域・近所・個人・家族の役割を明確にする</li> <li>・個人・地域・近所の準備</li> <li>・消防団との連携</li> <li>・防災のリーダーが必要</li> </ul>	<p><b>●連絡会で意見交換</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ連絡会に各町内の防災委員長にも参加していただく</li> </ul>
<p><b>●地震のみの対策にパターン化している</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への取組みが昔のままパターン化して、多様化している災害に対して実効が疑わしい</li> <li>・防災倉庫には地震対策品しか備蓄がない</li> </ul>	<p><b>●時系列によって異なる対応をする訓練</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発災前訓練と発災後訓練を分けて実施</li> <li>・一人一人が消火器の使い方を練習する</li> </ul>	
<p><b>●町内ごとに備えるべき災害の特性が異なる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内会で想定される災害（地形）が異なる</li> <li>・各町内会で意見が違いため、なかなか地域としての方向性が見出せない</li> <li>・町内会によって防災会にばらつき</li> <li>・共有の方法が課題</li> <li>・水害避難勧告出た時の黄色いハンカチの課題</li> </ul>	<p><b>●防災力の高い町内の事例共有</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当町内と同じような地形・環境である被災地があればその実体験を聞きたい</li> <li>・同じような地形の地域を参考にして検討する</li> <li>・啓蒙活動</li> <li>・専門家の意見聴講、意見交換</li> <li>・障害者や高齢者のマップ作り</li> </ul>	<p><b>●避難しない訓練</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者は無理をして避難しないで黄色いハンカチで状況を知らせる方法を採用（or 訓練）したい</li> <li>・黄色いハンカチの使い方の徹底が課題</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員の任期短い</li> <li>・防災委員の任期複数年化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員が交代しても継続できるように、先を見通した計画づくり</li> </ul>	

※下線部は、平成27年度第1回連絡会における意見

